



教育実践研究プログラム

# 教育をさらに深める 未来の教育現場へ

本プログラムの内容は、今日対応が迫られている教育課題に関する専門的知識を修得するとともに、議論を通して、教育課題の解決に関する方策について検討します。

加えて、教育実践研究を進めるための方法論（質的及び量的）の修得、

さらに、教育実践研究を自身の経験に当てはめて考えることを通して、教育実践研究の在り方についての探究を深めます。

本プログラムは、教育学学位プログラムが中心となり、心理学学位プログラム、

障害科学学位プログラム、カウンセリング科学学位プログラムが協力して運営することで、学際的な教育内容を提供します。



対象

- 教育の実務に関わった経験のある方
- 教育学と関連した大学院を修了或いは在籍中の方

受講資格

大学卒業以上の学歴を有し、上記の条件に該当する方

特色

- 土日のオンライン開講及び小・中・高の夏休み期間中のハイフレックス開講
- 修了を認定された方に「学校教育法」に基づいて筑波大学長名の「履修証明書」を授与
- 修得された科目と単位に「成績証明書」を授与、大学の単位として認定

受講料

2年間91,200円（筑波大学の特別の課程履修者として身分証を交付のうえ、図書館利用や学内LAN、manaba並びにMicrosoft365の利用ができます。）

履修期間

原則2年間（1年間での早期修了も可能）

教育目標

- 今日の教育課題に関する専門的知識
- 教育実践に関わる研究課題を設定、解決して、教育改善に貢献することのできる実践力
- 実践研究論文を作成する能力





## 科目概要等

<p><b>教育実践研究の課題Ⅰ</b> (時間数15時間、1単位)</p> <p>教育学学位プログラム教授 藤井 穂高 ほか</p>	<p>本授業は、以下の今日の教育課題に関して検討する。(1) 教育における自由・平等・社会的公正、(2) 教育制度の基本原則と現代的問題、(3) 主権者を育てる教育と学校、(4) 子どもの声を生かした学校づくり、(5) 学校統廃合を契機とした学校と地域の再編、(6) 昨今の大学入試改革の動向とその課題、(7) 学び続ける教師を支える諸条件、(8) 学校の自律性・組織力、校長のスクールリーダーシップ。</p>	<p>6月中旬～8月初旬の土曜日午後オンライン開講(同時双方向型) (全5回：受講者は、合計で8つの教育課題から5つを選択し、受講する。)</p>
<p><b>教育実践研究の課題Ⅱ</b> (時間数15時間、1単位)</p> <p>教育学学位プログラム助教 朝倉 雅史 ほか</p>	<p>本授業は、以下の今日の教育課題に関して検討する。(1) 発達障害のある子どもに対する支援、(2) 知的障害のある子どもに対する支援、(3) 学習障害に対する理解と支援、(4) インターネット普及の光と影、(5) 不登校児童生徒の実態と必要な支援、(6) いじめ問題の深層と必要な支援。</p>	<p>9月中旬～11月初旬の土曜日午後オンライン開講(同時双方向型) (全5回：受講者は、合計で6つの教育課題から5つを選択し、受講する。)</p>
<p><b>教育実践研究の方法</b> (時間数15時間、1単位)</p> <p>教育学学位プログラム教授 藤田 晃之 教育学学位プログラム准教授 山本 容子 ほか</p>	<p>教育実践研究を進める上で必要となる方法論として、質的研究法と量的研究法を取り上げ、少人数に分かれてグループディスカッションを実施し、発表を行ってフィードバックすることを通して、教育実践研究に関する方法論を体系的に修得する。なお、授業では特に、実務家教員の持ち込む教育事象に関する具体的なデータを用いて双方向に学ぶことと、あわせて実務家教員による解説も含めることとし、学校教育実践の実態をつかむことに留意する。</p>	<p>夏休み期間中の連続する2日間(2025年8月9日、8月10日)で、対面開催として、筑波大学(筑波キャンパス)において実施する。</p>
<p><b>教育実践研究の探究</b> (時間数15時間、1単位)</p> <p>教育学学位プログラム教授 唐木 清志 ほか</p>	<p>勤務する学校等の教育実践現場において、教育実践を繰り返したり、その過程でデータを収集したりしながら、自らの教育実践を体験的に振り返り、研究上の課題を明らかにして、教育実践研究をさらに向上させるための方策を探究する。</p>	<p>夏休み期間中の連続する2日間(2025年8月23日、8月24日)で、対面開催として、筑波大学(筑波キャンパス)において実施する。</p>

- 📖 オンラインと対面による対面学修
- 📖 受講者の課題設定に応じた多様な教育課題に関する講義
- 📖 講義と受講者のグループワーク・ディスカッションとの組み合わせ
- 📖 土日及び夏休み期間中による集中的な授業実施
- 📖 成果として日本学術振興会の科学研究費「奨励研究」への申請



お問い合わせ先

筑波大学人間エリア支援室大学院教務

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

✉: ningen-eprp@un.tsukuba.ac.jp